

# 少年消防クラブニュース

一般財団法人  
発行/ **日本防火・防災協会**  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16  
(日本消防会館内)  
TEL 03(3591)7121 FAX 03(3591)7130  
http://www.n-bouka.or.jp  
(季刊・年4回発行)

印刷/株式会社 近代消防社

## 少年消防クラブ指導者交流会



### 1 日 目

少年消防クラブ活性化推進会議(委員長・秋本敏文、日本消防協会会長、日本防火・防災協会会長)では、去る2月7日(土)と8日(日)の2日間にわたり、主に昨年8月に中止となった徳島県での「少年消防クラブ全国大会」の出場予定であった少年消防クラブの指導者を対象とした「少年消防クラブ指導者交流会」を東京都内で開催しましたので、その概要を紹介いたします。今回は、全国の少年消防クラブの代表による活動事例発表と意見交換及び参加者による避難所運営訓練等が行われました。

最初に、秋本敏文委員長から「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」



秋本敏文委員長

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」



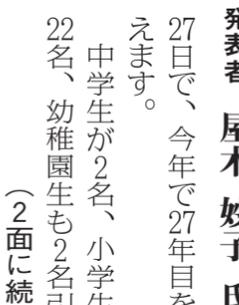
河合宏一 地域防災室長

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」



佐藤浩樹 安全教育調査官

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」



西町少年消防クラブ(北海道札幌市) 発表者 屋木 妙子氏

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」

「『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に」

### 「少年消防クラブニュース」の「地域防災」への統合について

防災に関する国及び地方公共団体の動向、各地域の皆さん方の活動状況など、さまざまな関連情報を広く共有し、地域防災力強化への動きを一層推進することを目的に、地域防災に関する総合的な情報誌「地域防災」を4月に創刊することになり、隔月の年6回、各4万部発行することとしております。

そのため、「少年消防クラブニュース」につきましては、この新情報誌が本クラブニュース紙の実績を踏まえ発展させた形で創刊されることから、今回発行します第20号をもって終了となります。

皆さまには、長い間ご協力頂き誠にありがとうございました。

なお、「地域防災」においても引き続き投稿等の情報の提供をお願いいたします。





（1面から続き）  
受けて、計26名で活動して  
います。指導者は10名で、  
消防団員とクラブ員OBで  
構成され、実践的な指導と  
クラブの伝統をつなぐ役割  
を果たしています。また、  
中学生は札幌市では、準指  
導者として位置づけられ小  
学生を見守り、活動を率先  
して行う良き先輩です。

3月には、小学校卒業に  
合わせてクラブの卒団式を  
行い、この中から毎年何人



として、札幌市消防学校で  
の市民公開デーに、日頃訓  
練してきたロープ結索を披  
露しました。その際、幼稚  
園のクラブ員も参加し、立  
派に成果を発表できました。  
た。歳末には、市民に防火  
を呼びかける防火パトロー  
ル、近くの大型商業施設で  
の火災予防広報を行ってい  
ます。また、札幌市は地上  
式の消火栓のため冬は大雪  
で埋まります。一般住宅近  
くのは、住民が雪を除  
けませんが、そうでない場合  
は、クラブ員が参加して消  
火栓除雪を行っています。

次にクラブの活動は、4  
月に連合町内会区域に回覧  
をまわしてのクラブ員募集  
に始まり、6月の入団式で  
はクラブ員の顔合わせ、リ  
ーダー、サブリーダーの決  
定、入団記念に消防署、出  
張所の庁舎前プラントーに  
花を植え飾ります。

8月は、設立以来続けて  
いる1泊研修を行います。  
この研修では消火器の取扱  
い、放水訓練、心肺蘇生法  
といった消防活動を学ぶと  
共に、地区会館で寝袋での  
宿泊、指導者や保護者と食  
事をするなど避難生活の模  
擬体験を行います。仲間や  
地域の大切さ、防災リーダ  
ーとしての自覚を学ぶ良い  
機会となっています。また、  
西区内の5つのクラブ  
が合同研修会を開催し交流  
を図っています。その成果

として、札幌市消防学校で  
の市民公開デーに、日頃訓  
練してきたロープ結索を披  
露しました。その際、幼稚  
園のクラブ員も参加し、立  
派に成果を発表できました。  
た。歳末には、市民に防火  
を呼びかける防火パトロー  
ル、近くの大型商業施設で  
の火災予防広報を行ってい  
ます。また、札幌市は地上  
式の消火栓のため冬は大雪  
で埋まります。一般住宅近  
くのは、住民が雪を除  
けませんが、そうでない場合  
は、クラブ員が参加して消  
火栓除雪を行っています。

次に消防出初め式では市  
民の前でAEDを使用した  
心肺蘇生法訓練を行いました  
。クラブの活動を多くの  
市民にアピールすることが  
できクラブ員にとっては自  
信と誇りを得る貴重な体験  
となります。他にクラブ員  
の知識向上のため、消火栓  
を使つての放水訓練や訓練  
用のAEDと人体モデルを使  
った地元の中2年生全  
員を対象とした救命講習な  
どを行い、救命救急の普及  
活動に努めています。

今後の活動と課題です  
が、当クラブは楽しく火災  
予防を学びましょうを基本  
として活動していますが、  
クラブ員の減少や指導者の  
高齢化といった課題や地  
震、崖崩れ、津波といった  
大きな災害に襲われること  
があります。

かが中学生クラブ員の準指  
導者としてさらに活動して  
いきます。

今後の活動と課題です  
が、当クラブは楽しく火災  
予防を学びましょうを基本  
として活動していますが、  
クラブ員の減少や指導者の  
高齢化といった課題や地  
震、崖崩れ、津波といった  
大きな災害に襲われること  
があります。

の少ない地域であることか  
ら、災害に際して危機感が  
さすを学ぶということ、化  
エネルギーをもっと使って  
いくことを学ばせていま  
す。7月末には、岩手県の  
林業の盛んな八幡平市、当  
葛巻町、住田町の3市町村  
で緑の少年団大会が行われ  
ます。来年度は葛巻町で開  
催予定です。

9月半ばに岩手県消防学  
校の学校公開があり、見て  
学ぶ、やって学ぶというこ  
とで子どもたちに体験をさ  
せていきます。10月に入る  
と、「新・牧・巻トリプル  
フェスタ」という3つのマ  
キに絡めたイベントが行わ  
れています。これに参加し  
山の職人たちと薪を切った  
りして交流をしています。  
また、岩手では「まきばの  
感謝祭」があり招待を受け  
て活動報告などを行ってい  
ます。3月と11月の春と秋  
の火災予防運動中に火防点  
検という活動が行われ、消  
防団が各家庭を訪問して防  
火の啓発をする際、子ども  
たちを同伴させて、地元の  
皆さんに顔を覚えてもらっ  
ています。

3月の末に防犯少年隊の  
活動で、警察署で防犯につ  
いての体験をさせたり、護  
身術の体験もしています。  
3つの活動によりバラ  
ンスのいい体験ができてい  
ますが、まだまだ活動として  
は足りないところもありま  
す。子どもたちにもあまり負  
担をかけられないので、上  
手く整合を図りながら今後  
も続けていきたいと思っ  
ています。私どもの育成会  
の土谷会長は、現在82歳で  
が、会長の口癖が「学校を  
巻き込んだ活動になると先  
生方に任せたくなくなるが、絶  
対それは辞めろ」、「育成  
会の人たちでいろいろ活  
動を提供してやりなさい」  
ということ。それを心  
に命じて今後も活動を続け  
ていきたいと思っていま  
す。

少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



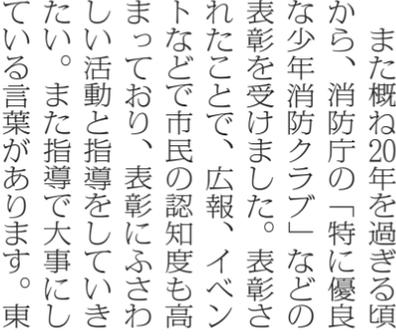
少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



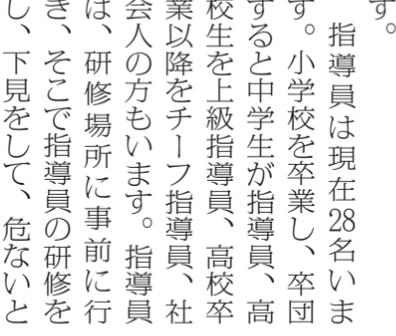
少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習



少年消防クラブでは、4  
月の下旬に、5月に開催さ  
れる葛巻町消防団の消防演  
習での少年消防クラブの軽  
習が開始されます。消防演習





(3面から続き)

また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

最後に、日本防火・防災協会の佐野忠史理事長から参加や報告のお礼と「指導者交流会の成果をクラブ活動の活性化に役立てるとともに、ほかの少年消防クラブ

にも情報発信をして頂きたい。8月に徳島で開催予定の少年消防クラブ全国交流大会については、皆さんの意見を踏まえよりよいものにするので積極的に参加をお願いします。

日本の少年消防クラブが世界一と言われるよう頑張っていきたい。また、4月から地域防災にかかる総合的な情報誌「地域防災」を隔月で発行することとなった。

少年消防クラブの関係者だけでなく自主防災組織、女性防火クラブ、消防団などの防災関係者のみならず、広く一般の方も対象に国や地方公共団体の防災施策や全国各地の活動事例などを紹介し、災害に強い地域づくり、人づくりを進めようというもので、少年消防クラブの指導者である皆さんからも情報の提供や地元の図書館で読むことができるよう、図書館に働きかけをしてもらいたい。指導者交流会についても来年以降も積極的な参加をお願いします。」との閉会挨拶がありました。

は、とてもやさしいので、ていねいに教えてくれた。

ぼくが、一番好きな活動は「通報」だ。通報は一一九番をかけ、いざという時におちついて、事故や火災の場所や状況を伝えられるように何回も練習する。他にも、救急、救助、結さくなどがあり、三角巾、ロープ、消火器、ポンプ、AEDの使い方を学ぶ。少しづつ上達していていると思う。

そんな日頃ごろの訓練の成果をばっさりする機会がやってきた。八月に少年消防クラブ交流大会全国大会が徳島で行われることになり、ぼくも、代表で参加できることになった。選ばれたことがうれしくて、やる気満々で練習をした。ぼくは、競技の中の、まいてある消火ホースを、真つすぐに転がしてのばし、的に当てる担当だ。初めは、すごく簡単そうに見えたのに、やってみると意外と難しく、なかなか真つすぐにいかなかった。でも消防士さんに、「ホースのあつかいにもコツがあつて、まず、ホースの先をしっかりと足でふみ、的に体をおつけ、転がすこと。それとちゃんと後片づけをすることも大切なんだよ。」

と言われ、そのとおりにやってみたら、上手にできた。ぼくは、徳島に行くことがますます楽しみになつた。全国の消防少年団の仲間と会えることも、徳島まで新幹線や飛行機に乗れることもうれしくてたまらなかつた。準備も万全で、わくわくしながら当日が来るのを待っていた。

それなのに、台風十二号、十一号が九州、四国地方にひどい災害をもたらした。崖くずれ、川が増水し、大雨で各地に大きな被害がでている様子をテレビで見ていると、今回の徳島での全国大会中止の連絡がきた。ぼくは、本当にショックだった。けれど、もつとつらいのは大会を準備してくれていた人たちが、大変なのは大雨の被害にあつた人たちだと家族に言われた。ぼくの頭の中には、くやし気持ちと悲しい気持ちがあつた。ショックでしばらく立ち直ることができなかった。あれだけ練習したのに行くことができてなくて本当に残念だった。

けれど、日ごろの訓練は、いつか役に立つ時がくると思うから、これからも防火防災について、一しよけん命学んでいきたいと思つている。

# 少年消防クラブの活動

## 秋川消防少年団

あきる野市作文コンクールで最優秀賞受賞

秋川消防署

東京都  
秋川消防少年団  
の野本陽太君(あきる野市増戸小学校6年生)は、あきる野市

教育委員会が主催する『家庭の日』推進事業に消防少年団活動を作文にし、応募したところ見事、優秀賞を受賞しました。

この作文には、昨年、台風風の被害により残念ながら中止となつてしまった、徳島での少年消防クラブ全国交流大会に向けての野本君の熱い思いが寄せられていますので、ご紹介いたします。

増戸小学校六年 野本陽太

ぼくは、消防少年団に入つて三回活動があり、防火防災について学んでいる。消防少年団は全国各地にある。

消防少年団に入つてすぐは、まだ三年生でよく分からなかつた。でも、消防少年団の指導員

また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

最後に、日本防火・防災協会の佐野忠史理事長から参加や報告のお礼と「指導者交流会の成果をクラブ活動の活性化に役立てるとともに、ほかの少年消防クラブ

にも情報発信をして頂きたい。8月に徳島で開催予定の少年消防クラブ全国交流大会については、皆さんの意見を踏まえよりよいものにするので積極的に参加をお願いします。



あきる野市長から表彰を受ける野本陽太君

## 消防少年団

増戸小学校六年 野本陽太

ぼくは、消防少年団に入つて三回活動があり、防火防災について学んでいる。消防少年団は全国各地にある。

消防少年団に入つてすぐは、まだ三年生でよく分からなかつた。でも、消防少年団の指導員

また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

最後に、日本防火・防災協会の佐野忠史理事長から参加や報告のお礼と「指導者交流会の成果をクラブ活動の活性化に役立てるとともに、ほかの少年消防クラブ

にも情報発信をして頂きたい。8月に徳島で開催予定の少年消防クラブ全国交流大会については、皆さんの意見を踏まえよりよいものにするので積極的に参加をお願いします。

日本の少年消防クラブが世界一と言われるよう頑張っていきたい。また、4月から地域防災にかかる総合的な情報誌「地域防災」を隔月で発行することとなった。

少年消防クラブの関係者だけでなく自主防災組織、女性防火クラブ、消防団などの防災関係者のみならず、広く一般の方も対象に国や地方公共団体の防災施策や全国各地の活動事例などを紹介し、災害に強い地域づくり、人づくりを進めようというもので、少年消防クラブの指導者である皆さんからも情報の提供や地元の図書館で読むことができるよう、図書館に働きかけをしてもらいたい。指導者交流会についても来年以降も積極的な参加をお願いします。」との閉会挨拶がありました。

は、とてもやさしいので、ていねいに教えてくれた。

ぼくが、一番好きな活動は「通報」だ。通報は一一九番をかけ、いざという時におちついて、事故や火災の場所や状況を伝えられるように何回も練習する。他にも、救急、救助、結さくなどがあり、三角巾、ロープ、消火器、ポンプ、AEDの使い方を学ぶ。少しづつ上達していていると思う。

# 宝くじは、みなさまの豊かな暮らしに役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、みなさまの暮らしに役立てられています。

一般財団法人

**日本宝くじ協会**

<http://jla-takarakuji.or.jp/>